「適正な電力取引についての指針（改定案）」に対する意見の概要及びそれに対する考え方

No	関係箇所	意見の概要	考 え 方
1	第二部 Ⅲ ネガワット取引分野における適正な電力取引の在り方 2 ア 公正かつ有効な競争の観点から望ましい行為 ① ネガワット取引の公正かつ有効な利用	<p>ネガワット取引は「電源調達手段の多様化を通じて電気の小売市場の競争活性化に資するもの」とあるが、ネガワット取引は小売市場だけでなく卸売市場の競争活性化にも活用されるべきである。</p> <p>ネガワット事業者と小売事業者の相対契約ではなく、市場を通じた取引によってネガワットが活用されなければ、「発電容量を合理的な規模に維持することで、効率的な電気の安定供給の実現に資する」ことはできないと考える。</p> <p>なぜならば、ネガワットの量と価格が市場を通じてオープンにならなければ、ネガワットによってどれほどの発電設備が代替されうるかを他の事業者が判断することが困難となるからである。【個人】</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、ネガワット取引の利用は卸電力市場の活性化にも資する旨を追記しました。</p>